

作成 令和3年12月18日

摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第4回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和3年12月15日～
議事録（抜粋）

1 児童生徒の生きる力を養う読書習慣の定着化に向けて

質疑概要

摂津市の小中学校令和3年度の全国学力・学習状況調査において、平日、授業以外に「読書を全くしない」と回答した児童・生徒の割合は全国を大きく上回る結果となりました。

そのため生きる力を養うために必要な読書について、学校での朝読書や学級文庫の充実など本市の児童・生徒へ習慣付けることについて議論を行った。

○松本議員

児童生徒の生きる力を養う読書習慣の定着化に向けて、令和3年度での全国学力・学習状況調査で、読書を全くしない児童・生徒が増加したことに関して、どう分析されているのかお聞かせください。

(略※)

○南野議長

教育総務部長

○小林教育総務部長

読書習慣の定着に関わる課題の分析についてのご質問にお答えいたします。

令和3年度の全国学力・学習状況調査の結果、平日、授業以外に「読書を全くしない」と回答した児童の割合は、7.5ポイント増え、36.9%となり、生徒の割合は、前回より3.8ポイント増え、53.4%となりました。

一方で、コンピューター等のゲームを1日1時間以上行う割合は、児童は85.9%、生徒87.8%で、ともに全国を大きく上回る結果となりました。

前回はともに設問がなかったために、経年比較ができませんが、ゲーム機やスマートフォン、パソコン等の普及なども、子どもたちの読書時間の減少に影響を与えているのではないかと捉えております。

(略※)

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

これよりは一問一答形式でお願い致します。

まず、読書習慣の定着化に向けてですが、読書の重要性は、議会で幾度となく議論されており、論理的思考力を鍛えるなど、生きる力を養う為に欠かせないことは言うまでもありません。また令和2年第3回定例会の一般質問では、学力と読書時間に相関があると教育委員会は答弁しています。

本市の読書を全くしない児童が前回よりも増え、また全国平均より大きく上回っていることに強い危機感を抱くべきです。

教育委員会は今、ICT教育に力を入れていますが、こういう時こそ、学びの基礎となる読書を大切にすべきではないでしょうか。

対策が必要です。例えば、読書習慣定着などを目的として一部の小中学校で朝読書の取組みがなされています。

教育委員会として、市の読書活動推進計画でも推進している朝読書含め小中学校で読書習慣定着の取組みを強く推進すべきですが、どうお考えかお聞かせください。

○南野議長

教育総務部長

○小林教育総務部長

議員ご指摘の始業前の時間を活用した読書活動、いわゆる「朝読書」については、従前より多くの学校で取り組んで参りましたが、現在では小学校に新しく導入された外国語や漢字・計算練習など各校が自校の課題に応じた取組みを行うようになっており、各校では給食や学習内容が終わった後などの時間に工夫して読書活動を行っております。

各学校に対しては、読書が学力に与える効果をデータに基づいて示し、「朝読書」や給食時間の後、授業や家庭学習などを工夫し、読書習慣を定着させる取組みを進めていくよう指導して参ります。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

読書習慣定着の取組みにおいて、学校間で著しく差が出ないよう教育委員会が責任を持って取り組まれるよう強く要望致します。

また朝読書の推進の取組みとして、幾つかの学校にヒアリングしたところ図書

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

室の充実はもちろんのこと、気軽に子ども達が本を手にとれるよう学級文庫の充実も必要という声があります。

文科省の紹介で、校区内で使用できる図書カードを児童に配布し、自分たちが読みたいもの、友達に勧めたいものを購入させ、それを教室に置き、学級文庫の充実と子ども達の読書へのやる気スイッチを押し、習慣化に取り組んでいる事例があります。

教育委員会として学級文庫の充実についてどうお考えかお聞かせください。

○南野議長

教育総務部長

○小林教育総務部長

子どもたちの読書に対する意識を高める上で、学校図書館や学級文庫を充実させ本を身近に置く事は重要であると考えております。

現在の学級文庫は、十分な数の書籍を配架できていないことに加え、古い書籍が多い実態がございます。また、予算も限られていることから、まずは、学校図書館の読書環境の充実に努め、学級文庫の充実については学校の実情に合わせて検討して参ります。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

学級文庫は、子ども達のより身近に本を置くことで、手軽に読書するきっかけを増やすことが期待できます。学校図書館の充実だけでなく、読書へのきっかけを増やす工夫が本市では特に求められているのです。是非、検討下さい。

その際には、選択制ふるさと納税も活用して下さい。

そして就学前教育での読み聞かせも非常に重要です。

子ども達が早い段階から本に慣れ親しむことも大切で、本市での未就学児への読み聞かせをさらに推進すべきですが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○南野議長

次世代育成部長

○橋本次世代育成部長

幼児期、特に4歳児から5歳児の時期に想像力、集中力等の非認知能力が大きく発達するといわれており、遊びの中から、学びの芽を育てる取り組みの一つとして、絵

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

本の読み聞かせは欠かせないものであると認識しております。

現在、公立園では、1日の読み聞かせの回数を増やし、好きな遊び時間にはグループでの読み聞かせを行っております。また園便りや保護者懇談会等の機会をとらえ、絵本の大切さの啓発し、全ての家庭への絵本貸出しを実施しております。

新型コロナウイルス感染症から一定過ぎた現在、各園では、近隣の図書館の利用、地域の絵本ボランティア等を園に招いての絵本の会の開催を再開いたしているところでございます。

私立園におきましても、独自の狙いやカリキュラムのもと、日々の保育で絵本の読み聞かせ等により、言葉を豊かにする取り組みを行っております。

令和4年度以降、公私立園所の就学前施設職員を対象とした、絵本に関する研修の実施を検討しております。その中で、子ども達の読書時間の状況等について共通認識を図るとともに、職員の読み聞かせのスキルの向上にもつながるよう内容の精査をすすめてまいりたいと考えております。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

是非とも、未就学児の子ども達が読書の楽しさをより多く経験できるよう要望致します。

最後に、教育長に令和3年度の調査結果を踏まえ、読書習慣の定着化に向けてどうリーダーシップを発揮されるのか、お考えをお聞かせください。

○南野議長

教育長

○箸尾谷教育長

議員ご指摘のように、これまでわが国での読書等と成績の関係について様々な調査がされております。

直近では、令和3年度の全国学力・学習状況調査におきまして、家庭の蔵書数、家庭にある本の数ですね、それが多い方が、学力が高くなる傾向があるというふうに言われております。

また、平成21年度、ちょっと古いですが平成21年度の全国学力・学習状況調査におきましても本が好きだ、と答えた子どもの教科の学力が高くなるということも指摘されています。

ただですね、さきほど申し上げた家庭の蔵書数が多いということが、ただちに子どもがたくさん本を読むというわけではありませんし、本が好きだという子どもがです

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

ね、傾向を分析しますと、そういう子ども達は学校の宿題をしっかりとやったり、あるいはテストの間違いなんかを振り返り、勉強をですね、計画的に行う傾向があることが明らかとなっております。

そういう意味で言いますと、読書というのは成績に影響はありますけれども、その影響は直接的というよりは、間接的かなと考えております。そういう意味で、本をたくさん読めば学力が上がると、あるいは学力を上げる為には本をたくさん読めば良い、そう簡単なものではないと留意しなければならないと思っております。

ただ、そうは申しますけれども、私も読書というのは非常に大事だと思っております。教科の学力だけでなく、子ども達が大人になって生きていくうえで大切である例えば豊富である知識や、語彙力なんかも身に付くでしょうし、考える力、あるいは表現する力、そして何よりも想像力、イマジネーションといいますか、想像力を鍛えるという意味でも読書というのは非常に大切であるというふうに思っております。

今後は教育委員会としては、デジタル教科書、あるいは電子書籍などの活用も考えながら、読書環境の整備と合わせまして、子ども達がですね読書に興味を持って、読書が好きになるようなことを行う事で、読書習慣を身に付けさせたいと考えております。以上です。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

是非、子ども達の生きる力を養う、これはやはり読書であろうと私も考えております。それゆえに、現状を踏まえ、対策を進めて頂くよう一層のリーダーシップの発揮を要望いたします。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

1 児童生徒の生きる力を養う読書習慣の定着化に向けて

- 2 文化活動や地域コミュニティ活動の促進について
- 3 河川防災ステーション上部施設の構想について
- 4 健都発展の取り組みについて
 - (1) エリアマネジメント等について
 - (2) イノベーションパークについて

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]